

平成 30 年 2 月 7 日

協力関係施設
施設長及び管理者 様

南庄内緩和ケア推進協議会
会 長(鶴岡地区医師会長) 土田 兼史
庄内プロジェクト緩和ケアを学ぼう会グループ
リーダー 鶴岡市立荘内病院 和泉 典子

平成 29 年度第 3 回 庄内プロジェクト 緩和ケアを学ぼう会

晩冬の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、庄内プロジェクトの活動につきまして、関係する多くの医療福祉機関の皆様より、格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今回の『緩和ケアを学ぼう会』では、サービス付き高齢者向け住宅での看取りまでの支援の取り組みと、自宅での生活を望むがん末期の支援事例、講義は介護老人保健施設みずばしょうで活動されている看護師の工藤由美さんに「高齢者のエンド・オブ・ライフケア」をテーマにお願いしております。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、貴施設の医療職、介護福祉職、職種を問わず、お気軽にご参加下さいますよう、お声かけよろしくお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成 30 年 3 月 6 日 (火) 18 時 30 分～20 時 00 分
2. 対 象 病院、介護施設、サービス提供事業所 (短期入所、通所介護、訪問介護、訪問入浴) での医療や看護・介護ケアに関わる医師、歯科医師、看護師、リハビリ職、薬剤師、栄養士、歯科衛生士、ケアマネジャー、ヘルパー、社会福祉士、相談員、関心のある方
3. 場 所 鶴岡市立荘内病院 3 階 講堂
4. 内 容 (1) 事例・取り組み紹介
①「自宅での独居生活を望む胃がん末期男性の介護事例」
永寿荘居宅介護支援センター 主任介護支援専門員 齋藤 仁一 氏
②「虹の家こころの看取り事例報告」
虹の家こころ こころ主任・介護福祉士 小林 俊 氏
(2) 講義 「高齢者のエンド・オブ・ライフケア」
介護老人保健施設みずばしょう 療養課課長・看護師 工藤 由美 氏
5. その他 参加については別紙にご記入の上、下記の連絡先に FAX でご連絡下さい。
参加申込み締切：平成 30 年 3 月 1 日 (木)

事務局

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川

(荘内病院 地域医療連携室内) 担当 佐々木

電話 26-5180 (直通) FAX 26-5156

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川 行き

FAX：0235-26-5156

参加申し込み書

締め切り→平成30年3月1日(木)

平成30年3月6日(火)の
第3回 庄内プロジェクト 緩和ケアを学ぼう会 に参加します。

所属施設名

Tel

NO	参加者氏名	職種
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

事務局

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川

(庄内病院 地域医療連携室内) 担当 佐々木

電話 26-5180 (直通) FAX 26-5156